

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒 元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

ブルー・スモーカー・マウンテンズ



ブルー・スモーカー・マウンテンズ (曇々たる山並み)

去る年の11月初旬、米国の友人を訪ねた折、誘われてアパラチア山脈の紅葉見物に出かけた。

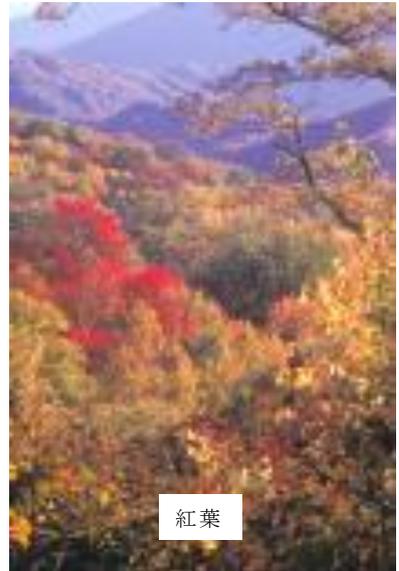
アパラチア山脈といっても峨々たる岩峰が連なっている訳ではないが、何しろ規模が違う。標高2千m級の鬱蒼とした原生林に覆われた山並みが、幅100km、縦長1千kmにわたって切れ目なく連なっているのである。

その中心部、テネシー州(TN)とノースカロライナ州(NC)が境を接する正面幅100km、奥行き30kmの地域がグレート・スモーカー・マウンテンズ国立公園(GSMNP)として自然保護され、トレッキング、キャンプ、溪流釣りなどを楽しむ人々の便に供されている。

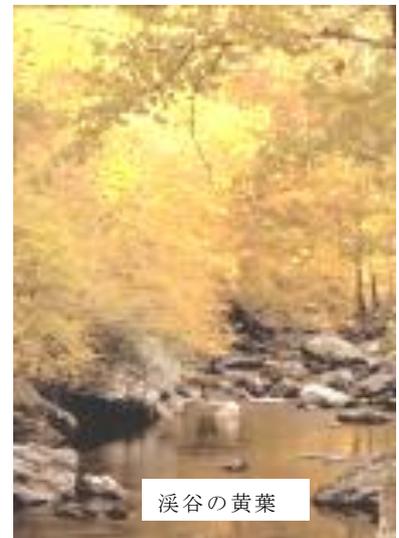
峰から峰への縦走ルート、溪流や滝を巡る谷筋ルートなど、バラエティに富んだ遊山ルートは、公園全体で総延長1400kmに及ぶとのことである。今回の旅は車での紅葉見物にとどまったが、いつの日かこの地での山歩きを楽しみたいと思い、山麓の案内所でこたま地図やガイドブックを買いこんだことだった。自然保護されている公園の真ん中にただ1本、自動車道路がTNからNCに横断し、一般観光客はドライブしながら山の景色を楽しむことができる。最高点のクリングス・ド

ーム
(2024m)には駐車場と展望台があって、そこからの展望はまた格別のものがある。

スモーカー・マウンテンズの名のとおり、淡い霧に浮かぶ青い山並みが見渡す限り360度、曇々と地の果てまで連なっている。正にブルー・スモーカー・マウンテンズである。近くに目を



紅葉



溪谷の黄葉



クリングス・ドームの夕映

転ずると紅葉は今が真っ盛り。見渡す限り金襴緞子綾錦の世界である。日本で

いうブナ、カンバ、カエデ、ツタ、ミズキなどの木々の色とりどりが、全山てんこ盛りで、とびきり豪華な料理をテーブル一杯、目の前にしたようなぜいたくな気分であった。

そんな日の山の宿の夕食に、尺余の鶏が丸ごと一羽、デンと各人のお皿を占領したのには、いささかゲンナリした。